

第1回 化学人材育成プログラム支援対象専攻 取組みの概要

専攻名： 早稲田大学大学院先進理工学研究科応用化学専攻

【専攻の概要】

- 化学に立脚した学際領域を融合しつつ、実践的化学を確立することにより、建学の精神である「学理の実践的応用」を目指す。
- 無機化学部門、高分子化学部門、触媒化学部門、応用生物化学部門、化学工学部門、有機合成化学部門、応用物理化学部門の7部門から構成されている。
- 先進理工学研究科の融合クラスター制度で、「ナノマテリアル」、「創薬化学」、「新エネルギー・環境」、「医工学」などに参加している。
- 修士課程では、専門領域の深化と細分化に対応した先端化学分野の研究開発における教育研究を通して、実学・工学を重視する。

【取組みの概要】

[目指す人材像]

- 「役立つ化学」「役立つ化学」を実践し、化学産業分野でリーダーになれる能力を潜在的に持つ人材
- 以下のスキルを有する人材
 - 修士レベル 高度な基礎化学研究能力/問題の発見・課題設定能力/コミュニケーション能力/ディスカッション能力/プレゼンテーション能力
 - 博士レベル
 - ✓ 国際会議等において英語で研究を発表・討論できる能力/英文学術論文の企画・執筆ができる能力
 - ✓ 競争的研究資金で資金獲得が可能なレベルの申請書が書ける能力
 - ✓ 周辺分野においても学術的価値・工学的価値を評価できる能力
 - ✓ 上記に裏付けられた、研究グループを率いるリーダーシップ力

[内容]

- カリキュラム
 - 学会・産業界からの視点導入
 - ✓ 実践的化学知演習AB(各2単位)/メソ化学演習(2単位)/研究倫理
 - 産業界で役立つ知識・技能の修得
 - ✓ 博士実践特論AB(2単位)(イノベーション・リーダーシップ/産業イノベーション)/博士実践特論S(2単位)
- カリキュラム外の取組み
 - 学外研究者との徹底した討論
 - ✓ 若手成果発表討論会 / 若手研究者ポスター発表会 / ロジカル・コミュニケーション / 実践博士研修(3ヶ月の企業インターシップ)

連絡先

- 担当者名: 松村きく
- Tel: 03-5286-3009
- E-Mail k.matsumura@kurenai.waseda.jp